

令和 7 年度モデル実証事業 ふるさとミライカレッジ公募採択プロジェクト一覧

	採択自治体	採択プロジェクト	連携大学等	事業費	目指す成果
1	北海道 月形町	「ツキガタイケン（大学生×アントレプレナーシップ）」	【連携する大学等高等教育機関】 北海道大学	10,000千円	・大学生が地域課題に実践的に関わる場（ツキガタイケン）を通じて関係人口を創出し、次年度以降は学生自身が企画・運営を担う自走型モデルへ移行させる。 ・空き家改修による拠点「いりぐちハウス」を完成させ、ゲストハウス収益を基盤にプロジェクト全体を持続させる。大学生による、小学生留学・月形グローバルカフェ等の多世代交流プログラムを実施し、町の内外をつなぐ多層的ネットワークを形成する。
2	秋田県 能代市	若者の視点を取り入れた “のしろつながるまちキャンパス4”プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 東京大学東大生地方創生コンソーシアム、 東北芸術工科大学、国際教養大学、秋田県立大学、秋田公立美術大学	10,000千円	・日常的にチャレンジする場所を創出するとともに、学生も活用できる拠点化を目指す。 ・駅前商店会、畠町商店街への来街者の増加を目指す。 ・参加学生が全員関係人口として、本地域に継続的に関わる関係性の構築を目指す。
3	山形県 小国町	「ぶな文化」を核とした地域課題解決プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 東北芸術工科大学、新潟大学、早稲田大学 【学生団体】 早稲田大学狩り部、早稲田大学いぐべおぐに	10,000千円	・地域価値の源泉としての「ぶな文化」を核に世代間交流や地域価値を見直し移住や事業化につなげることを目指す。 ・中高生が、将来のロールモデルとなる大学生や地域内人材と共に探究的な学びを実践する環境と拠点を作る。
4	福島県 玉川村	Creating the future「たま×たま」プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 玉川大学	8,936千円	・小中高生が将来的に「戻ってきたい・ふるさとに貢献したい・応援したい」と思える土台をつくり、郷土愛を育成する。 ・参加した大学生が継続的に地域に関わり、地域の担い手として活躍する環境を整備し、ひと・もの・ことを循環させる。
5	新潟県 十日町市	若者の視点を取り入れた 「学びを軸とした地域構築の実践」プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 実践女子大学	8,885千円	・2 拠点（十日町市松代・松之山地域）とともに、「ふるさと」を共通のテーマにデザインすることで、自然とともに営まれてきた豊かな暮らしの知恵や助け合いの心、農的暮らしの奥深さについて知り、この土地への関心・関与を自分事として深め、外部人材であった学生は「関係人口」となる。プロジェクトを通して、ハブとなるコーディネーターが大学と地域をつなぐ拠点となり、大学生と大学OG、地域おこし協力隊、地域の人々をつないで地域の協働・共創を生み出し、地域人材が循環的に形成され、関係人口から移住・定住に移行させていく仕組みの基盤をつくる。

令和7年度モデル実証事業 ふるさとミライカレッジ公募採択プロジェクト一覧

	採択自治体	採択プロジェクト	連携大学等	事業費	目指す成果
6	新潟県 南魚沼市	若者の視点を取り入れたリノベーション・プロジェクト	【連携する大学等教育機関】 法政大学（連携：千代田区キャンパスコンソーシアム、構成大学：大妻女子大学、共立女子大学、専修大学、東京家政学院大学、二松学舎大学） 早稲田大学	10,000千円	・大学生が空き家及び公共施設を改修し、その後も継続的に学生が合宿拠点として活用できる施設の創設を目指す。 ・中高生が進学後に、地元に戻り行政職員や団体職員として地域活性化に取り組んでもらうよう事業を進めたい。 ・参加大学生の8名が継続的に訪問し、内2名は地域おこし協力隊や「ふるさとワーキングホリデー事業」等のディレクターとして関わってもらえるような関係を築きたい。
7	長野県 小布施町	地域と学生等との共創プログラム開発プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 東京大学 まちづくり研究室、信州大学	10,000千円	・コミットする学生等参画者の創出：事業の実装に向けた活動に、プログラム終了後に3名以上が関与し続ける状態 ・“継続的に取り組むこと”への町内外利害関係者合意：1件以上、構想・実装を町内外利害関係者で合意を得る ・コーディネータ人材の育成：実証期間終了後に2名以上が見込まれる状態
8	長野県 飯田市	若者の視点を取り入れた過疎地支援「遠山郷ESDカレッジ未来共創プロジェクト」	【連携する大学等高等教育機関】 白梅学園大学、東京農工大学、都留文科大	10,000千円	・若者世代の「交流人口」を増加させるため、これまでの取組を生かし、「遠山郷クラブ」（仮称）にアップデートする。 ・地域の子どもや住民向けのイベント開催や住民の集会等でも活用できる活動拠点の形成を目指す。 ・将来は参加学生のうち半数について関係人口として継続的な訪問が行われる関係となることを目指す。
9	京都府 京丹波町	若者の視点を取り入れた観光コンテンツ開発プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 一橋大学	7,567千円	・特に若者世代など時代の新たなニーズを捉えた観光コンテンツの組成やSNS等での効果的な発信の実現 ・大学や大学生の継続的な関与、地域との互惠関係の構築
10	兵庫県 丹波篠山市	中立舎を拠点とした居場所づくりプロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 武庫川女子大学、兵庫県立大学、関西国際大学、関西学院大学、神戸学院大学	9,950千円	・新たな関係人口の流入・定着が生まれ、担い手が育成されることで、地域文化・伝統行事が継承される。 ・地域の発信力が高まり、外部との接点が広がるとともに、地域資源の再評価と価値の再発見。 ・中立舎を核とした共創・協働の拠点が機能することで関係人口として地域と繋がりが続ける動きが生まれる。

令和 7 年度モデル実証事業 ふるさとミライカレッジ公募採択プロジェクト一覧

	採択自治体	採択プロジェクト	連携大学等	事業費	目指す成果
11	和歌山県	ローカル線沿線地域を対象とした課題解決プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 大阪観光大学、和歌山大学、大阪公立大学、羽衣国際大学、横浜国立大学、摂南大学、武蔵野美術大学、東京経済大学等	10,000千円	・その地域でしか体験できない活動や交流を経て、地域への関心と愛着を高め、関係人口として地域と繋がることを目指す。また、県で新設予定の関係人口創出プラットフォームへ参加学生 8 割の登録を促す。
12	島根県雲南市	長年培ってきた学びのフィールドを活かした人材還流プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 明治大学、早稲田大学、米子工業高等専門学校、島根大学	10,000千円	・地域のお祭りや古民家改修に学生たちが参画し、アイデアを提案・実行することで、新たな交流と賑わいを創出する。 ・学生と住民が交流を深める拠点の整備や、学生と多様な地域プレーヤーとの対話・共創を通じて、プロジェクト後も学生が雲南市と継続的に関わる関係性を構築する。
13	島根県海士町	“島留学”×“システム×デザイン思考”による事業共創・人材育成プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科（慶應SDM）	9,850千円	・学生等が経営人材候補として、財団が中間支援組織として、連携しながら事業共創ができる状態を目指す。 ・そこに向けて、①学生等およびまちづくり団体の人材育成、②地域課題を解決する数千万規模のソーシャルビジネスの企画・チームアップ、③島留学制度の発展方向性の明確化、の 3 点についてそれぞれ成果を把握・測定する。
14	愛媛県宇和島市	地域を担う若者と一緒に考える事前復興プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 東京大学大学院	10,000千円	・高校生と継続的な展示とワークショップを実施し、住民に広く防災・事前復興を共有するとともに多様な声を集める。 ・提案書は、市の事前復興まちづくり計画事業の参考資料とし、具体的なソフト・ハード整備へ展開させる。
15	沖縄県宮古島市	若者の視点を取り入れた宮古島モデル構築プロジェクト	【連携する大学等高等教育機関】 ZEN大学、立教大学、淑徳大学	10,000千円	・大卒の新規就業者を増やすための週末副業を選択肢に加えた新たな採用モデルの構築。 ・学生の地域課題研究成果の地域関係者との共有による新たな視点と解決法の共通理解創出。